

欧州委員会、「イノベーション・ユニオン・スコアボード2014」を公表

2014年3月5日
JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州委員会は、3月4日、欧州諸国のイノベーションの実績を比較した「イノベーション・ユニオン・スコアボード2014」を公表した。欧州諸国の“イノベーションの成績表”とも言えるものであり、イノベーションの実施に関するランク付けを行ったもの。

各国のスコアは、イノベーション実現のための要因、企業活動、イノベーションによる成果の3つのカテゴリーに分類される25の指標を基に算出されている。調査対象として、28のEU加盟国並びにスイス、アイスランド、ノルウェー、セルビア、マケドニア旧ユーゴスラビア及びトルコの非EU加盟国のほか、これら欧州諸国の競争相手として韓国、米国、日本、カナダ、オーストラリア、BRICs諸国（中国、ロシア、インド、ブラジル、南アフリカ）を含む。

EU加盟国の中では、1位：スウェーデン、2位：デンマーク、3位：ドイツ、4位：フィンランドの順となっており、昨年・一昨年と同様に、北欧諸国及びドイツが上位にランクインしている。欧州諸国のスコアは、以下のとおり4のグループに分類される（スコアの高い順、また、括弧内は非EU加盟国）。

1. EU平均の20%以上

（スイス）、スウェーデン、デンマーク、ドイツ、フィンランド

2. EU平均の-10～20%

ルクセンブルク、オランダ、ベルギー、英国、アイルランド、オーストリア、（アイスランド）、フランス、スロベニア、エストニア、キプロス

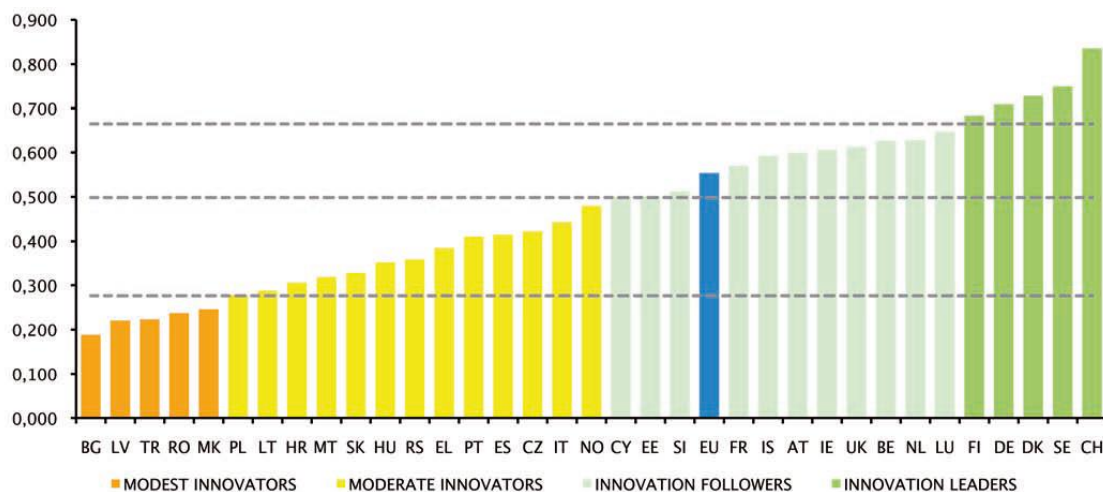
3. EU平均の-50～-10%

（ノルウェー）、イタリア、チェコ、スペイン、ポルトガル、ギリシャ、（セルビア）、ハンガリー、スロバキア、マルタ、クロアチア、リトアニア、ポーランド

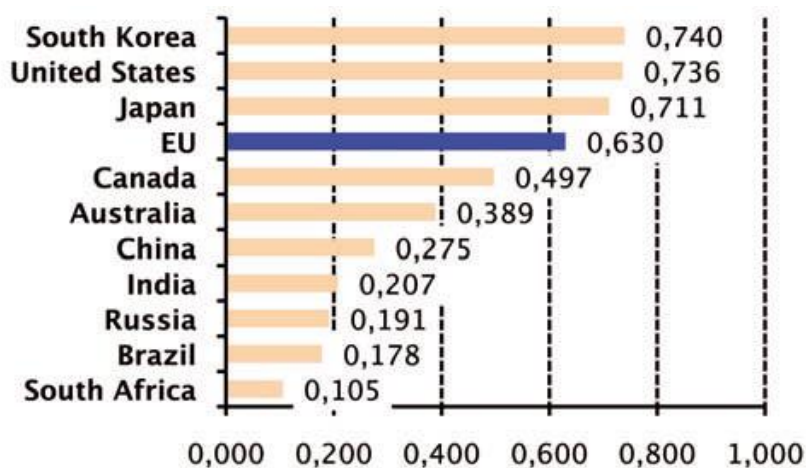
4. EU平均の-50%以下

（マケドニア旧ユーゴスラビア）、ルーマニア、（トルコ）、ラトビア、ブルガリア

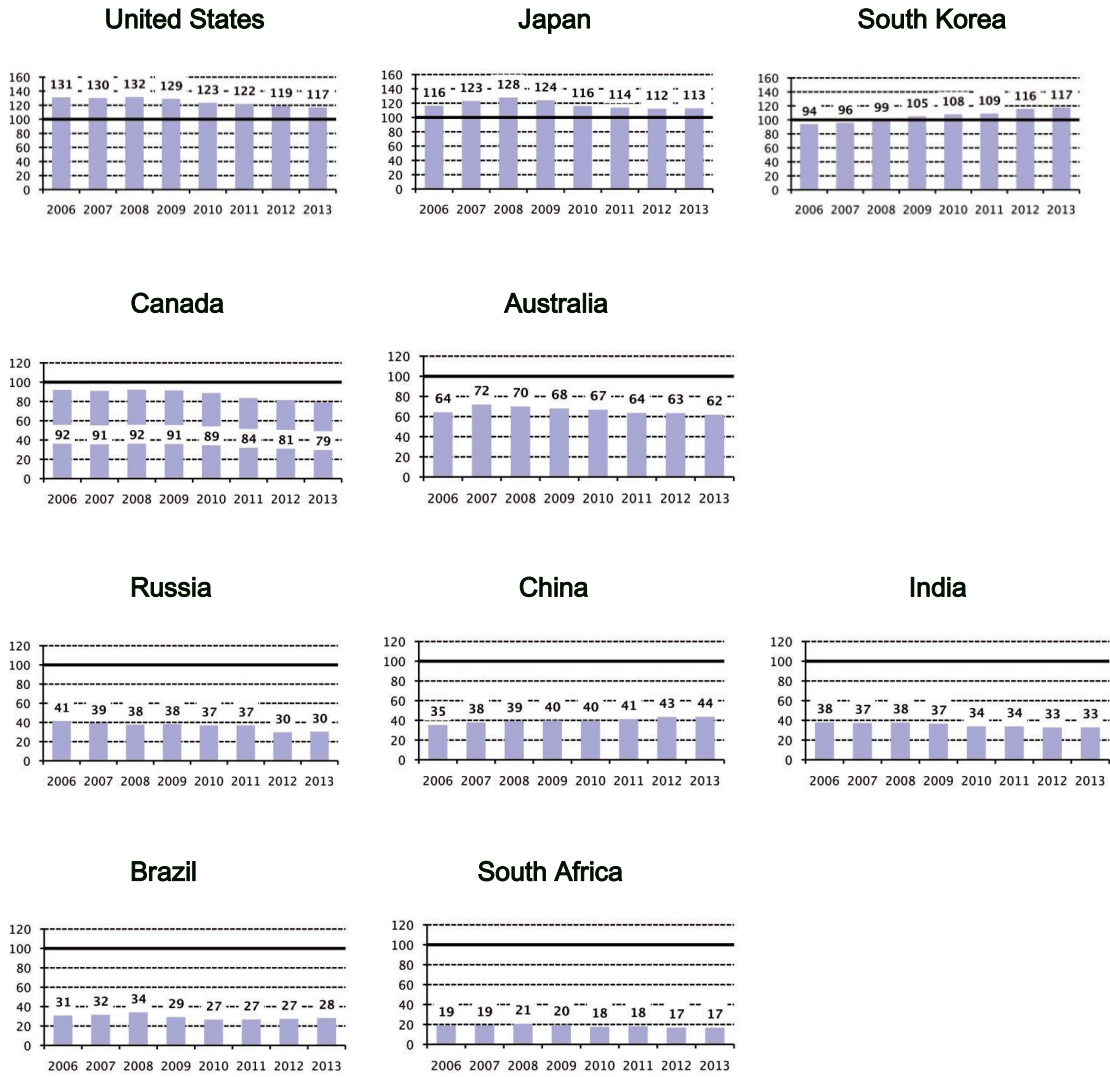
次のグラフは、上記の欧州諸国について、最低0～最高1の範囲で数値化したイノベーションの総合指数をまとめたものである。



そして、次のグラフは、EU加盟国の平均と欧州以外の競争相手国のスコアを示したものであるが、韓国、米国、日本がEUを引き離している。

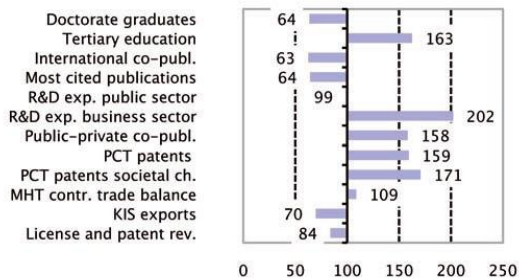


さらに、次のグラフは、欧州諸国から見た競争相手国のスコアのEUのスコアに対する割合(%)の過去8年間の推移を示したものである。米国・日本とEUとの差は縮まっているのに対して、韓国とEUとの差は徐々に開いてきている。一方、BRICs諸国に対しては、EUが大きくリードしており差は縮まっていない。

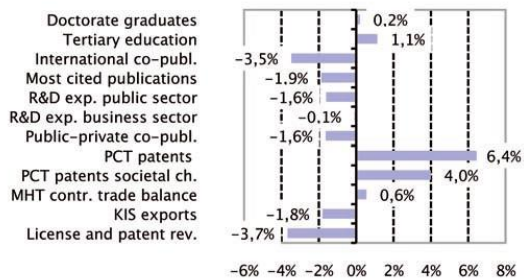


EU と日本の指標ごとの比較は以下のとおり。日本は、特に GDP に対する産業界の研究開発費と PCT 出願件数の割合の指標において EU をリードしているが、その差は縮まっている。

Performance lead: Japan



Change in performance lead: Japan



— 欧州委員会のプレスリリースは、以下参照 —

[Europe more innovative but regional differences persist](#)

— 報告書の本文は、以下参照 —

[Innovation Union Scoreboard 2014 \(PDF\)](#)

— イノベーション・ユニオン・スコアボードについては、以下参照 —

[Innovation Union Scoreboard](#)

— 「イノベーション・ユニオン・スコアボード」に関する欧州知的財産ニュースは、
以下参照 —

[欧州委員会、「イノベーション・ユニオン・スコアボード2013」を公表（2013年3月27日）（PDF）](#)

[欧州委員会、「イノベーション・ユニオン・スコアボード2011」を公表（2012年2月8日）（PDF）](#)

(以上)